

(第3種郵便物認可)

検討会の石坂会長から中間報告を受け取る岩崎議長＝宇都宮市で



県議会の政務活動費

県議会の政務活動費について、支出が適正かどうか点検する第三者機関の設置などを盛り込んだ中間報告をまとめた、岩崎議長に提出した。

報告書によると、第三者機関は弁護士や公認会計士といった外部の有識者一人で構成。議長の求めに応じ

て必要な調査をし、県議会各派や議会事務局からの疑問点に助言する。調査は四半期ごとに実施し、各会派に報告。一年分の調査結果は議長に報告する。

このほか、ホームページでの情報公開も明記。政務活動費の概要や使い道の基準などを説明したマニュアルに加え、執行状況などを公開対象にした。

第三者機関設置、HPで公開

あり方検討会、中間報告に盛り込む

困窮者対策など補正23億6000万円

県議会9月通常会議上程

生活困窮者への支援では、県非常勤職員の自立相談支援員を四人増やす。少子化対策では、出会いイベントの開催や保育士の再就

「諦めず戦い続ける」



雨の中、安保法制への反対を訴える「戦争をさせない全国署名栃木県連絡会」のメンバーら＝宇都宮市で

「太平山麓九条の会」(栃木市)の大森八重子さん(左)は、仲間七人と駆け付けた国会前で、特別委員会の法案可決を知った。シュプレヒコールを上げようとしていたところに入

安保法案 参院特別委可決

異常ともいえる大混乱の中、安全保障関連法案が十七日、参院特別委員会でも可決されたことを受

雨の中 不安、怒り渦巻く

政府の姿勢に疑問を持ち、デモに参加するようになった宇都宮市の会社員福田大介さん(左)は、十六日夜から十七日に日付が変わるまで、国会周辺で声を上げ続けた。「自分たち若い世代が被害を受ける」と不安を口にしました。

特別委員のやりとりは朝からテレビ中継されたが、採決されたことをすぐに理解できない人も多かった。「何が起きたのかよく分からないまま、日本の将来に関わる大切なことが決められてしまった」と語ったのは宇都宮市の主婦(左)だ。

「首相自身が『国民の理解は進んでいない』と認めているのに、強行する必要があるのか。国民の声に耳を傾け、丁寧な議論をしてほしい」と語った。

緊急観光PR隊 県結成、都内などで活動



出発式があり、福田宣一知事は「大雨被害が全国に伝わっているが(今週末からの)シルバーウィークの前には鉄道や道路の多くが復旧する。多くの人にPRしてほしい」と激励した。

栃木 創業昭和四年 味曾まんじゅう

県内の天気 きょう あす 大田原 宇都宮 小山

宇都宮支局 〒320-0033 宇都宮市本町9-12 電話 028-624-1122